

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70122
事業名	女性特有のがん予防推進費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス ウェルネス推進			電話番号	011-211-3514
施策名	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	1 乳がん超音波検査 40歳代に多い高濃度乳房の女性は、マンモグラフィ検査に対する感度が低下するため、超音波検査と併用し検査することで乳がん発見率の向上が見込まれる 2 札幌市子宮がん検診未受診者対策事業(HPV自己採取検査) 自己採取によるHPV検査は、自宅で検査できる簡便さがあり、羞恥心を伴わないため心理的負担の軽減が見込まれる。検査を通して子宮がん検診への動機づけを図ることができる。
	事業内容(何を実施し)	1 乳がん超音波検査 市内に居住する40歳代(原則偶数歳)の女性でマンモグラフィ検査を受ける方のうち、希望者に超音波検査を実施する。 2 札幌市子宮がん検診未受診者対策事業(HPV自己採取検査) 市内に住民登録のある25歳の女性で子宮がん検診未受診の方のうち、希望者に自己採取によるHPV検査を実施する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	女性特有のがん(乳がん・子宮がん)について予防及び早期発見と市民の健康保持への寄与。
	他都市の状況	1 堺市、つくば市、品川区等で実施している。 2 江別市、小樽市、埼玉県志木市、千葉県市原市、福井県等で実施している。
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	32,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	34,688 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	36,732 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット 活動指標1	乳エコー受検者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8,693人	8,232人	8,544人	8,532人	8,711人	
	↓						
	アウトカム 成果指標1	乳がん検診受診率(40代)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		15.90%	16.30%	15.80%	16.70%	17.10%	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	乳エコー受検者数、乳がん検診受診率ともに目標に近い水準に到達しているが、引き続き乳がんの予防及び早期発見と市民の健康保持への取組みを継続する。					
	アウトプット 活動指標2	HPV受検者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,142人	775人	949人	1,050人	1,046人	
	↓						
	アウトカム 成果指標2	子宮がん検診受診率(20代)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		27.90%	27.80%	27.60%	28.40%	29.10%	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	HPV受検者数、子宮がん検診受診率ともに目標に近い水準に到達しているが、引き続き子宮がんの予防及び早期発見と市民の健康保持への取組みを継続する。					

今年度の見直し内容	
来年度以降の方向性	子宮頸がん／乳がん検診無料クーポン券や、未受診勧奨はがき、再勧奨はがきについて、ナッジ理論に基づいたデザインに変更し対象者への受診への動機づけを行う。また「札幌市がん検診受診体制整備事業」において、WEB広告による普及啓発を行うことで若年層の受診率向上を図る予定。